

千曲市監査委員公表 第1号

地方自治法第199条第14項の規定に基づき、千曲市長から措置を講じた旨の通知がありましたので、次のとおり公表します。

令和8年3月31日

千曲市監査委員 春日良太

同 柳澤真由美

措置の通知書

令和7年度(令和6年度分)決算審査

指摘事項	指摘事項の内容	指摘事項に対する措置内容等
共通事項 1. 健全な財政運営の維持・推進	<p>令和6年度の一般会計決算は、人件費・公債費等の義務的経費が大幅に増加したものの、固定資産税をはじめとする市税の堅調な伸びに支えられ、実質収支は前年度を上回る9.7億円の黒字となりました。</p> <p>一方で、財政の硬直度を示す経常収支比率は、義務的経費の増加に伴い95.2%と前年に引き続いての上昇、標準財政規模に占める公債費等の割合を示す実質公債費率も11.3%（3か年平均）と上昇傾向が続きました。また、基金は全体で21億円余の取崩を行った結果、前年度に引き続き残高の減少が続き前年度比で12億円余の減となりました。</p> <p>今後、企業誘致や転入者の増加により市税は堅調に推移すると見込まれますが、社会保障費等の圧縮困難な経費の増加傾向が続くことから、財政運営はより厳しさを増すものと予想されます。</p> <p>行政改革大綱や公共施設等総合管理計画の着実な推進をはじめとする不断の事業見直しや後年度の財政負担を十分考慮した施策の優先順位の見極めなどを通じて、引き続き財政運営に万全を期すようお願いします。</p> <p>とりわけ当市では、「総合運動公園整備事業」や「地域防災拠点・道の駅整備事業」、「屋代地区開発事業」などの大型事業が着手あるいは予定されています。これらの事業の実施に当たっては、国の交付金等の特定財源の十分な確保やPFI等の新しい手法を効果的に取り入れるなど将来の財政負担を極力軽減するよう一層の努力を求めます。</p>	<p>【財政課】</p> <p>現下の財政状況につきましては、当初予算編成説明会をはじめとし折に触れ職員への周知を図り、個々の職員が少しでも経営感覚を持って業務に取り組んでもらえるよう説明してまいります。なお、本年度（令和8年度に向けた）の当初予算編成説明会は10月2日（木）を予定しています。</p> <p>市議会に対しましては、定例会や委員会での質問に対する答弁などで丁寧に説明をしてまいります。また、全議員を対象に8月28日（木）・29日（金）に決算事前説明会を開催し、令和6年度の決算状況について詳細な説明をしたところです。</p> <p>市民の方へは、市報やホームページなどでの情報公開に努めるとともに、出前講座等で説明を求められた際は、丁寧な説明に努めてまいります。</p> <p>行政改革大綱につきましては、実施計画に定める各種取り組みの進捗を精査するとともに、社会情勢の変化に対応した取り組みを進めてまいります。また、公共施設等総合管理計画につきましては、少子高齢化による税収減、社会保障費増に対応するため、引き続き公共施設の総量縮減、再配置を進めてまいります。</p>

	<p>加えて、現下の財政状況について全職員が共通認識を持つとともに市議会とも十分な情報共有を図りながら市民に丁寧に説明し理解していただくようお願いします。</p>	
--	---	--

指摘事項	指摘事項の内容	指摘事項に対する措置内容等
<p>共通事項</p> <p>2. 公共施設等総合管理計画の推進</p>	<p>公共施設等総合管理計画の推進は、将来の財政状況を踏まえた持続可能な市民サービスの維持・発展を図るうえで極めて重要な取り組みです。各課ではこれを踏まえて、所管する各施設に係る個別施設計画を策定し、総合管理計画における当面の中期目標である令和12年度(2030年度)までの3%削減(平成26年度(2014年度)比)に向け尽力されていることと思えます。</p> <p>公共施設の統廃合や譲渡は地元との調整をはじめ長期間を要する案件であり、毎年度着実な取り組みを続けることが計画の達成には不可欠です。特に維持管理に多額の経費を要する文化施設や温泉施設などは、施設の性格上地元や利用者への影響が大きいため早期に今後の方向性を示し、意見・要望を伺いながら具体的なプランを検討する段階に移行する必要があります。</p> <p>また、統合方針が出ている学校給食センターや施設の在り方を検討している市民プールなどについても早急に検討を進めてください。</p> <p>なお、昨年度の定期監査で指摘させていただいた学校プールの今後の在り方については、市民プールとの関連も含め総合的な観点から検討いただくようお願いいたします。</p>	<p>【財政課】</p> <p>公共施設の統廃合につきましては、現在、集中的に取り組んでいる「市が所有する集会施設の地元譲渡」を着実に進めていくとともに、機能が重複する施設の集約化を進めてまいります。特に維持管理に多額の費用を要する文化施設や温泉施設については、市の負担を最小限に抑え、現行の行政サービスを可能な限り維持できる具体的な手法を所管課と検討し、今後の方向性を示してまいります。学校給食センターの統廃合及び小学校のプールのあり方については、在校児童数の推移や学校プールの利用状況、学校施設や学びのありかたなど、さまざまな視点から所管課とともに検討してまいります。</p> <p>(小学校のプール授業に関し、現在、所管課と調整を進めておりますが、来年度にモデル校として小学校2校程度を選定し、試行的に埴生中屋内プールを活用した授業を実施する予定です)</p>

指摘事項	指摘事項の内容	指摘事項に対する措置内容等
<p>共通事項</p> <p>3.繰越制度の適切な運用</p>	<p>繰越制度の適切な運用については、かねてより監査意見で指摘をしてきたところですが、今年度の決算においても若干の改善はみられるものの、繰越件数・繰越金額とも大幅な減少とはなっていません。</p> <p>今回の監査でも、工事の設計段階で関係者との協議が不足したまま十分な工期を設定せずに発注し、結果として繰越で事業を執行したと推察される案件もあり是正が必要です。</p> <p>繰越制度は、財政法における「会計年度独立の原則」の例外措置であり、不経済・非効率な執行を避ける意味で設けられています。発注後の予期せぬ事情変更や国の補正予算計上時期による制約等、やむなく繰越せざるを得ない場合を除き、安易な事業の繰越は厳に慎むよう引き続き適切な予算計上・事業執行をお願いします。</p>	<p>【財政課】</p> <p>以前から指摘をされており、本課としてはその都度改善に努めてまいりましたが、左記のような評価となったことは大変遺憾です。年度途中で国の補正予算に関する事業や一般財源以外の財源が関係する事業を除き、極力、繰越事業とならないよう、あらためて関係課と調整してまいります。</p>

指摘事項	指摘事項の内容	指摘事項に対する措置内容等
<p>個別事項</p> <p>2. 姨捨の棚田について</p>	<p>姨捨の棚田は、国の名勝指定、国の重要文化的景観選定等に加え、令和2年に「月見」をテーマとする日本遺産の構成文化財の一つとして認定され、文化・観光・農地等の多面的な価値を有する千曲市を代表する貴重な財産となっています。</p> <p>一方、多面的な性格を有することから棚田の維持・保全・情報発信等における関係部署が多岐にわたり、これまで十分な連携が取れているとは言い難いのが現状です。また、棚田の特徴として官民連携の下様々な主体が参画することで維持が図られてきましたが、特に棚田を耕作することにより維持・保全を担ってきた農業者の高齢化が深刻であり早急に今後の在り方を見出していく必要があります。</p> <p>このような現状を踏まえ、将来の在り方について担当者レベルでの検討が開始されたとのことですが、今後は棚田に参画している様々な主体に加え外部の有識者も交えて、将来の在り方を本格的に検討する機会が必要と考えますので、積極的な取り組みをお願いします。</p>	<p>【農林課】</p> <p>現在、棚田保全団体等で組織される千曲市棚田保全推進会議において、「将来像策定プロジェクトチーム」を立ち上げ、信州大学農学部の内川准教授にもご協力いただき、姨捨棚田の実態調査を行っています。今後は内川准教授を正式にアドバイザーとして委託し（R8 予定）、プロジェクトチームに協議を重ねながら、姨捨棚田の保全に向けて課題解決を図り、将来像の策定をしてまいります。</p>